

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種にかかる諸課題を問う

新型コロナウイルスワクチンの集団接種を想定した初めての訓練が、1月末に川崎市で実施された。想定よりも接種に時間がかかった点など、訓練で浮かび上がった課題は全国の自治体で共有されると伺っている。

国の方針によれば、本町も早ければ4月から高齢者からワクチン接種を開始することが求められているが、「3密」を避けながら多くの人に効率的に接種するのは手順の複雑な大仕事になることが予想される。

また、ワクチン接種は無料とはいえ、新型コロナへの恐れとワクチンへの忌避感で、接種するかどうか迷う町民も多いと思われる。町民の命と健康を守り本町の新型コロナ感染者の発生を押さえ込むには、できるだけ多くの町民に接種していただく必要があると思うが、これにはワクチン接種への理解を促す丁寧な説明が大前提になると考える。

そこで、次の事項について問う。

- ① 円滑なワクチン接種に向けて、庁内体制の構築が必須と考えるが。
- ② 医師会の全面的協力が必要と考えるが、調整状況は。
- ③ 町民からのワクチン接種にかかる問い合わせに対応するコールセンターを設置しては。
- ④ LINEを活用してワクチン接種の予約を可能とする考えは。